

福岡市地域・地産水素を活用した次世代地域モビリティー構想

～地元エネルギーの利活用による更なる“まち”の魅力向上を目指して～

代表提案者	住友商事九州株式会社
協同提案者	住友商事株式会社

下水処理場由来の地産水素を活用したモビリティを導入し、交通上の課題解決やまちの魅力を高める取組を推進する。

LP1: 交通弱者のサポート・移動性向上を実現する コミュニティ域内の周遊交通システムの構築

【目的】 市民生活の向上

- ✓ 誰もが安全で便利に移動できる交通環境づくり
- ✓ 災害にも対応できる交通体系の実現
- ✓ 域内の回遊性向上や他交通との結節の実現

【課題】人口増加による自動車保有台数増(駐車場不足)、
➤ 域内施設への自動車移動によるCO2排出量増加。

【LP概要】

カート(水素or電動)の活用により、交通空白地や新興ニュータウンのような域内コミュニティでのコンパクトな移動手段を実現することで、域内住民の利便性向上・移動活性化を目指す。
シェアリング ⇒ 自動運転



地域由来の低炭素エネルギーの供給サービスと
利用アプリケーションを一体的に具現化することにより…

- ・地域課題の解決
- ・先進性を内外に示すことでまちの魅力向上を実現
- ・地元における新産業の創出



LP2: インバウンド客への水上観光サービスの提供

【目的】 インバウンド客への対応

- ✓ 海に恵まれた歴史と文化の魅力が人をひきつける都市
- ✓ 手段としての移動だけでなく、“移動を楽しむ”
- ✓ 国内外からの広域的な人流・物流を支える交通

【課題】インバウンドが団体ツアーから個人旅行客にシフトし、ニーズが多様化。インバウンド向けのエンターテインメントが不足。

【LP概要】

インバウンドの観光メニューの多様化を目的として水上モビリティーを活用。水素取り組みの先進性PRのため水素船を投入し、新たな観光の目玉コンテンツとして博多湾の夜景クルーズとの組み合わせ、またアトラクションの観点から水陸両用車を検討し、更なる観光活性化を図る。

LP3: 地域内外資源を活用した水素サプライチェーンの構築

【目的】 水素サプライチェーンの構築

- ✓ 九州やアジアを牽引する交流拠点都市
- ✓ 下水バイオガス水素の利用拡大



【LP概要】

LP1及びLP2の導入コンテンツのエネルギーとなる水素(特に低圧水素キャニスター)の供給体制を構築し、水素供給から各導入機器のオペレーションまでを一元的に管理することで域内での水素利用拡大、水素の地産地消実現を目指す。中長期的には水平展開として他地域への広域的な展開を図る。